

受験番号	番
------	---

令和 8 年度

精道三川台高等学校 第 1 回入学試験問題

国 語

注 意

- 1 「始め」の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけません。
- 2 解答用紙は中にはさんであります。
- 3 「始め」の合図があつたら、まず、受験番号を問題冊子および解答用紙の受験番号欄に記入しなさい。
- 4 問題は□一～□四で、1 ページから 1 2 ページまであります。
- 5 答えは、すべて解答用紙に記入しなさい。
- 6 特に指示がない限り、答えに句読点や記号を含みます。
- 7 「やめ」の合図で、筆記用具を置きなさい。
- 8 試験終了後は、問題冊子および解答用紙を机の上に置いたまま退出しなさい。

□ 一の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

令和八年度入学試験の国語の問題では、以下の作品を出典として使用しました。

・瀬尾まい『戸村飯店青春100連発』(文藝春秋)

※ 著作権の関係で本文の掲載はしておりません。

問一 Ⅱ線部(ア)「ゴウカ」、(イ)「コえ」、(ウ)「オオバン」、(エ)「アンイ」について、それぞれのカタカナを漢字に直して答えなさい。

問二 本文 a 「おう」、b 「はいはい」、c 「了解」、d 「大丈夫大丈夫。着いたらすぐにちゃんとかけるって」などのように、コウスケが返事をしている理由をまとめた次の文の□に入る表現を、二十字程度で抜き出して答えなさい。

- ・ もう高校三年生だが、まるで□で準備をしているから。

問三 空欄□Aに入る、人の身体の一部を表す漢字一字を答えなさい。

問四 空欄□Bに入る表現として、最も適当なものを、次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 雨降って地固まる イ 枯れ木も山のにぎわい ウ 備えあれば憂いなし エ せいては事をし損する

問五 ―線部①「大いに違う」とありますが、何と何がどのように違うのですか。三十五字以内で答えなさい。

問六 ―線部②「前の晩はカツ丼でも食べと言いたところ」とありますが、この表現から考えられる母の思いを、三十字以内で答えなさい。

問七 ―線部③「ああ、ありがとう。」とコウスケが母に素直に言える根本的な理由を、五十字以内で答えなさい。

問八 本文の最後の場面について、Aさん、Bさん、Cさん、Dさんが考えを述べあっています。

四人の発言のうち、本文の内容と合わないものを、人物名で答えなさい。

Aさん コウスケは母親がこれだけの準備をしてくれることに「はいはい」と返事はしているものの、感謝の気持ちは持っているようだね。

Bさん ただ、地元を離れて何の目的もなく東京の大学に行くことは自分勝手なことで、判断が間違っているのではないかと疑問が生じているね。

Cさん 自分では自立のつもりだけど、迷惑をかけていると感じているね。でも、母の返事と笑顔ですっかり安心してコウスケも笑ってみようとしているね。

Dさん 「俺も笑ってみた」とあるように、一度は笑いながらも、母とのやりとりができなくなること考えると複数の思いが出てきて、コウスケの落ち着かない様子は見えるね。

□ 2 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

令和八年度入学試験の国語の問題では、以下の作品を出典として使用しました。

・ 暉峻淑子『豊かさとは何か』(岩波書店)

※ 著作権の関係で本文の掲載はしておりません。

問一 Ⅱ線部(ア)「カクイツ」、(イ)「依存」、(ウ)「コウリュウ」、(エ)「統一」について、カタカナは漢字に、漢字は平仮名に直して答えなさい。

問二 空欄 A、B にあてはまる言葉を、次の中から選び、それぞれ記号で答えなさい。

ア だから イ むしろ ウ しかし エ たとえば

問三 Ⅰ線部①「これ」の指す内容を、三十字以内で答えなさい。

問四 Ⅰ線部②「思ってもみなかった『豊かさ』」を具体的に説明している六十字の一文を、本文中から抜き出し、最初の五字を答えなさい。

問五 ―線部③「何もしない」と、ほぼ同じ意味を表現している部分を、―線部③「何もしない」がある段落の一つ前の段落から、十字以上二十字以内で抜き出して答えなさい。

問六 ―線部④「原発のようなギリギリの技術」とは、どんな技術ですか。七十字以内でわかりやすく説明しなさい。

問七 筆者の考える「本当の豊かさ」にあてはまるものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 現在の、安定した偏差値教育の継続。
- イ 個人より、社会全体を優先すること。
- ウ 会議において、多数決で決めること。
- エ 画一的モノサシで優先順位を決めること。
- オ 人間が自然と共に生き、支え合うこと。

三 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

※¹無益のことをなして時を移すを、愚かなる人とも、※²僻事する人とも言ふべし。国のため、君のために、①やむことをえずしてなすべきこと多し。その余りの暇、※³いくばくならず。思ふべし、※⁴人の身にやむことをえずして※⁵営む所、第一に食ひ物、第二に着る物、第三に居る所なり。人間の大事、この三つには過ぎず。飢えず、寒からず、風雨に侵されずして、閑かに過すを楽しむとす。

ただし、人皆病あり。病に冒されぬれば、その愁へ※⁶忍びがたし。医療を忘るべからず。薬を加へて、四つのこと、求めざるを貧しとす。この四つ欠けざるを富めりとす。この四つの外を求め営むを奢りとす。四つの事※⁷儉約ならば、②誰人が足らずとせん。

『徒然草（第二百二十三段）』兼好法師

※¹無益のこと…無駄なこと

※²僻事する人…間違ったことをする人

※³いくばくならず…いくらでもない（多くない）

※⁴人の身に…人として生きていくために

※⁵営む所…得ようと努めることは

※⁶忍びがたし…耐えがたい

※⁷儉約ならば…つつましくやっているとすれば

問一 Ⅱ線部 a「思ふ」、b「飢ゑ」を、すべて平仮名で現代仮名遣いに直しなさい。

問二 Ⅰ線部①「やむことをえずしてなすべきこと」の意味として適当なものを一つ選び、記号で答えなさい。

ア 仕方なくやってしまったこと イ やめられずにずっとやっていること

ウ 手に入らなくて困っていること エ やらないわけにはいかないこと

問三 筆者が人間にとって大切だと説いている「四つのこと」とは何ですか。本文中から抜き出して答えなさい。

問四 筆者が「楽しみ」としている生活とはどのような生活ですか。本文中の語句を使って、二十五字以内で答えなさい。

問五 次のうち、筆者の主張と明らかに対立している考えを述べたものを一つ選び、記号で答えなさい。

ア 最低限の衣食住があれば、人は穏やかに暮らせる。 イ 便利でぜいたくな暮らしこそが人間の幸せである。

ウ 病気を防ぐために医療は大切である。 エ 節度を持って生活すれば、だれもが満足できる。

問六 Ⅰ線部②「誰人か足らずとせん」の意味として適当なものを一つ選び、記号で答えなさい。

ア 誰が満足しないだろうか イ 誰かは足りないと感じている

ウ 誰もが生きていけないだろう エ 誰もが満足するとは言えない

問七 次の文章も『徒然草』の一部である。「(第百二十三段)」、「(第十八段)」この二つの文章から共通して読み取れる作者の考えを、三十字以内で書きなさい。

「人はおのれを※。つづまやかにし、奢りおごを退けて財たからを持たず、世を※。むさぼらざらんとぞ、いみじかるべき。
昔より、賢き人の富めるは稀まれなり。」

『徒然草(第十八段)』兼好法師

※。つづまやかにし…つつましく質素にして
※。むさぼらざらんとぞ、いみじかるべき…利益をむさぼらないのが、立派である

四

次の表は、令和5年度から7年度の「全国学力・学習状況調査」の、全国と長崎県の結果を示したものです。これについてあとの問いに答えなさい。

調査項目	中学校			
		本県	全国	全国比
授業でP C・タブレットなどのI C T機器を週1回以上使用している	令和5年度	90.7	87.5	+3.2
	令和6年度	90.6	89.0	+1.6
	令和7年度	92.7	92.2	+0.5

問一 資料から読み取ったことをもとに、あなたが考えたことを、五〇字以内で答えなさい。

問二 「P C・タブレットなどのI C T機器」を授業で使うことが、なぜ求められているのですか。あなたの考えを二〇字以内で答えなさい。

解答用紙

1

[illegible]

三

[illegible]

三

問 一	a	b	
問 二			
問 三	一 つ	二 つ	三 つ
問 四			四 つ
問 五			
問 六			
問 七			

四

問	問
一	一

解答用紙

1

問 八	問 七	問 六	問 五	問 四	問 三	問 二	問 一
Cさん	やんと欠席だるからで	普段はお店をやつて、学校行事などほいと	しえといかう思い。で、入学試験に合格してほ	縁起をこちや梅田や難波が、街の大きな人や多く	ウ手	う校の修学旅行のと	A豪華イ超えウ大盤エ安易

三

	問 一	問 二	問 三	問 四	問 五	問 六	問 七
オ	ア	A	ヨ	レ	受身で、自	工ネ果たし生	わせ持つてい
	画一	エ	ロツバ	共るこ	源を力に人	と破壊す	
	イ	ウ	では、多		して受け取は	の反面、危	
	いぞん				間にとつて大	ゆるうな危険	
	ウ		農業の価値が認めら		受ける大きな役	よいうな危険もあ	
	交流						
	エ						
	どういつ						

三

[illegible]

四

問 二	問 一
問いに対して、表現できているか 等で採点。	